

新たな総合計画の議論の第2期総合戦略への反映

第10回富山県中山間地域創生総合戦略検討会

令和7年10月9日

新たな総合計画の議論の第2期総合戦略への反映①

- 検討会でのご意見や新たな総合計画素案の「基本理念」、「10年後の将来像」、「重点的に推進する人口減少対策」の視点を反映するため、「施策実現のための観点」を骨子(案)から変更。
- 特に、県全体より人口減少・高齢化のスピードが速い中山間地域の総合戦略においては、「重点的に推進する人口減少対策」を踏まえ、人口減少対策を「緩和」と「適応」の両面から重点的かつ戦略的に推進する。

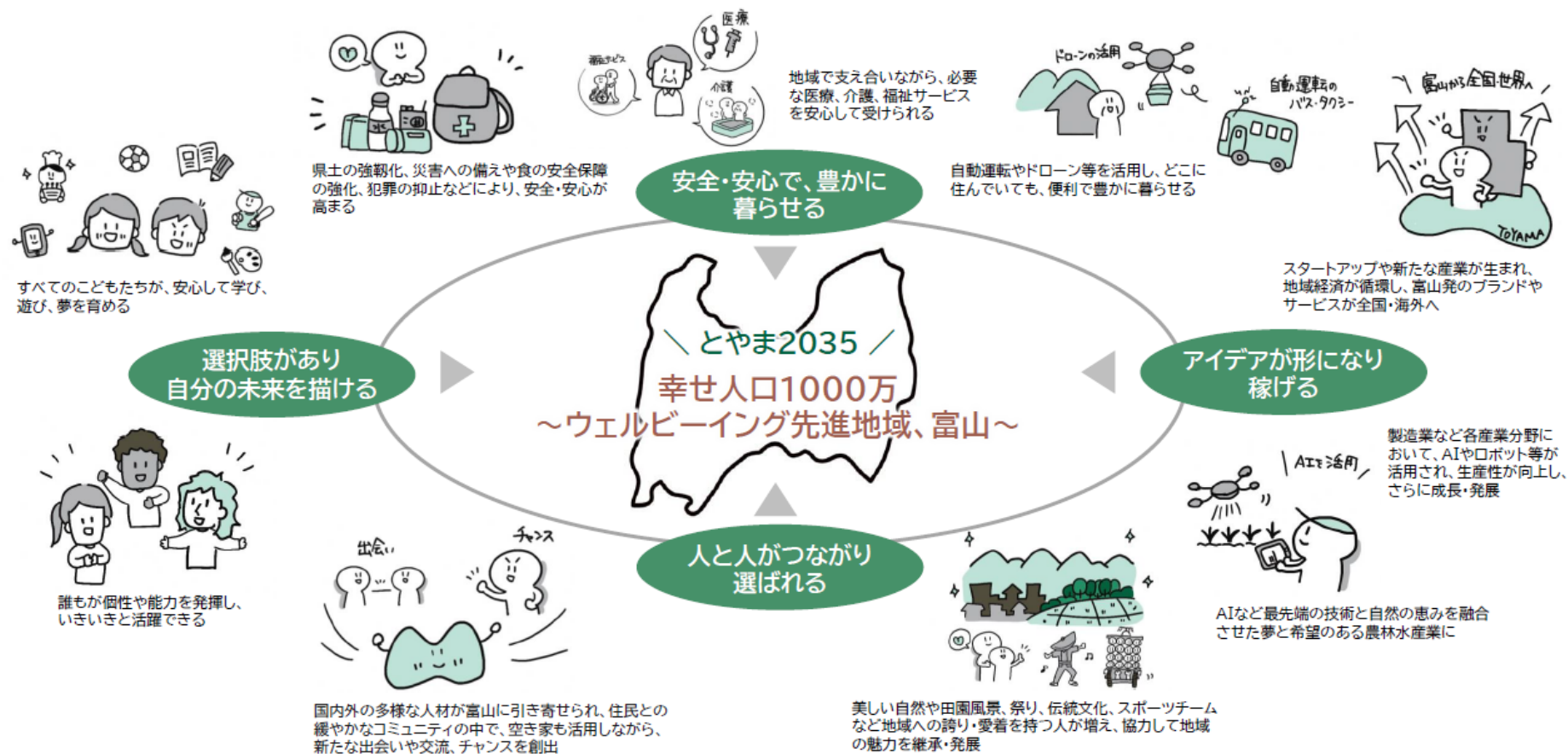
基本理念

「幸せ人口1000万 ～ウェルビーイング先進地域、富山～」

- 富山県を取り巻く環境が変化する中、「数」や「量」を重視した従来型の発展モデルは転換期を迎えており、これからは一人ひとりの幸せ、生活や人生の「質」をより重視し、県民のウェルビーイングを高めていくことが重要です。
- 人口減少下でも富山県が持続的に発展していくために、「富山が好き」「富山は心地いい」と思う富山のファンを日本中・世界中に増やし、交流し続けることで、新たな視点や多様な活力を取り込んでいきます。
- 雄大な自然、おいしい水や食、豊かな伝統文化・・・「幸せの基盤」が揃う富山県。ここで暮らす人、仕事をする人、よく訪れる人など、愛着を持って関わる全ての人たちとともに、「幸せ人口」を増やし、「ウェルビーイング先進地域」を目指します。

新たな総合計画の議論の第2期総合戦略への反映①

みんなで目指す「とやま2035」 ～10年後の将来像～



新たな総合計画の議論の第2期総合戦略への反映①

重点的に推進する人口減少対策

- 持続可能な富山県を目指し、最重要課題である人口減少対策を、「緩和」と「適応」の両面から重点的かつ戦略的に推進します。

I 人口減少の「緩和」

(1) 自分の生き方を主体的に選択できる“とやま”

経済状況や子育て環境などを理由に結婚や出産をあきらめることがないよう、若い世代が希望する将来展望を描ける環境をつくるとともに、誰一人取り残さない「こどもまんなか社会」の実現を図ります。

- ①若い世代が将来展望を描ける環境づくり
- ②こどもまんなか



(2) 働きたい、関わりたい、住みたい“とやま”

地域経済を活性化し国内外から人材を呼び込むとともに、富山の日常にある幸せと上質な暮らしの魅力を発信し、働く場所としても、関わる場所、住む場所としても「選ばれる富山県」を目指します。

- ①産業振興
- ②ブランディング・観光振興
- ③関係人口の拡大・深化
- ④移住促進



II 人口減少社会への「適応」

(1) 多様な人材が活躍できる“とやま”

本格的な「労働供給制約社会」に適応するため、女性や高齢者など多様な人材の活躍とDX等による働き方改革、生産性向上等を推進します。また、日本人も外国人もお互いの文化を認め合い、共に安心して暮らし、活躍できる多文化共生の地域づくりを推進します。

- ①多様な人材（担い手）の活躍と生産性の向上
- ②外国人材の活躍と共生社会の実現



(2) 安心して快適に過ごせる“とやま”

人口減少下においても、安心して快適に暮らせるよう、県土強靱化や防災、防犯、まちづくり、中山間地域の振興、公共交通、医療・介護・福祉、次代を担う人づくり等を推進します。

- | | |
|--------------|-----------|
| ①県土強靱化・防災・防犯 | ④公共交通 |
| ②まちづくり | ⑤医療・介護・福祉 |
| ③中山間地域の振興 | ⑥教育・人づくり |



新たな総合計画の議論の第2期総合戦略への反映①

中山間地域の目指す姿

- 「住民主体の地域づくり」が広がりを見せる一方で、更なる人口減少・高齢化が予測される中山間地域では、これまで通りのやり方だけでは地域活動の維持が困難になることが懸念されます。
- 地元の若者や女性、移住者の参画など地域活動の裾野の拡大、関係人口や地域おこし協力隊などの外部人材の受入れ、近隣の地域や企業等との連携など新たな地域コミュニティ運営の仕組みを模索していく必要があります。
- あわせて、多様な働き方や新たなビジネス創出の流れを取り入れ、地域の特性や強みを活かした新たな仕事や雇用を生み出し、若者の定着や移住、地域間交流の促進を図ることも重要です。
- さらに、自然災害の激甚化・頻発化、生活インフラの弱体化、サービスの担い手不足のなか、新しい技術の活用等により誰もが安全に安心して住み続けられる生活環境の確保も必要です。
- 人口減少・高齢化のスピードが速い中山間地域では、県全体に先駆けて人口減少社会に適応した持続可能な地域づくりの実現を目指します。



みんなでつくる「持続可能な“さとやま”」
～スマートさとやま2.0～

新たな総合計画の議論の第2期総合戦略への反映②

- **施策体系**は「富山県中山間地域における持続可能な地域社会の形成に関する条例」第6条を基本に、新たな総合計画の12の政策分野のうち、骨子（案）に記載がなかった分野の主要施策を新たに加え、より総合的に取り組む。

12の政策分野と主要施策

- 2つの政策の柱に、12分野の政策を位置づけ、主要な施策を中心に展開。

政策の柱 1 未来に向けた人づくり

01 | こども・子育て

02 | 教育

03 | 文化・スポーツ

04 | 健康・医療・福祉

05 | スタートアップ

06 | 人材活躍・共生

政策の柱 2 新しい社会経済システムの構築

07 | インフラ・県土強靱化

08 | まちづくり・交通

09 | 農林水産

10 | 産業・GX

11 | 観光

12 | 環境

新たな総合計画の議論の第2期総合戦略への反映②

施策体系

観点1:
地域コミュニティの自治力強化、
地域の保全

1 住民主体の地域づくり

- ①住民主体の地域づくりの促進
- ②地域運営組織の整備及び地域間の連携強化
- ③多様な人材が活躍する地域づくり

2 さらに移住促進、 関係人口の創出・拡大

- ①移住・Uターン促進
- ②中山間地域と都市との交流促進
- ③空き家の利活用の推進

3 魅力あふれる地域づくり

- ①自然豊かで美しい里山や農村環境の保全
- ②伝統行事や民俗芸能の保存・継承、文化・スポーツを通じた地域活性化
- ③地域の魅力を活かした子育てや教育環境の充実

観点2:
地域の特性を活かした
経済の活性化

4 地域の特性を活かしたビジネスの振興

- ①創業機運の醸成、新たなビジネスの創出
- ②多様な就労機会の確保や企業等の誘致
- ③農林水産物の高付加価値化
- ④魅力ある地域資源の磨き上げ、観光を担う人材の育成
- ⑤再生可能エネルギー源の活用

5 中山間地農業の活性化

- ①農業の担い手確保・育成
- ②スマート農業の推進
- ③競争力のある農産物や薬用作物等の生産
- ④農村RMOを核とした農村の維持・活性化
- ⑤農福連携の推進

6 林業及び木材産業の活性化

- ①林業の担い手確保・育成
- ②林業イノベーションの推進による生産性向上
- ③県産材の安定供給体制の整備と木材需要拡大

7 鳥獣被害の防止等

- ①野生鳥獣の適正な保護と管理
- ②地域ぐるみの鳥獣被害対策の推進
- ③ジビエの利活用

観点3:
安全・安心な暮らしの確保

8 災害に強い地域づくり

- ①治山・治水・土砂災害対策
- ②ライフラインとなる道路の計画的な整備・レジリエンスの強化
- ③公共インフラの耐震化、老朽化対策
- ④地域防災力の強化

9 日常生活を支えるサービスの確保や 取組の推進

- ①持続可能で最適な地域交通サービスの確保・向上
- ②買い物支援の推進
- ③除排雪の推進

10 医療・福祉サービスの確保

- ①心とからだの健康づくり
- ②医療提供体制の確保・充実
- ③地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の整備
- ④介護・福祉人材の確保と介護テクノロジーの導入推進